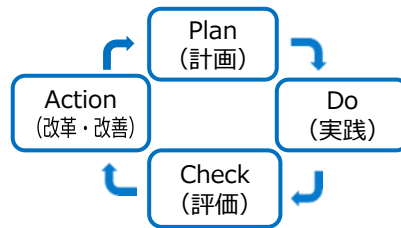


1. 行政評価とは

行政評価は、行政の透明性を高め、効率的で効果的な町政の実現を目指すとともに、行政の事業内容を町民により分かりやすく説明するための手段です。評価においては、PDCA マネジメントサイクルにおける「Check(評価)」と「Action(改革・改善)」の工程を行うことで、課題を明らかにするとともに、資源のより効果的な配分を図ります。

また、検証結果を、「Plan(計画)」「Do(実践)」により反映し、事業のより一層の推進を図っていきます。

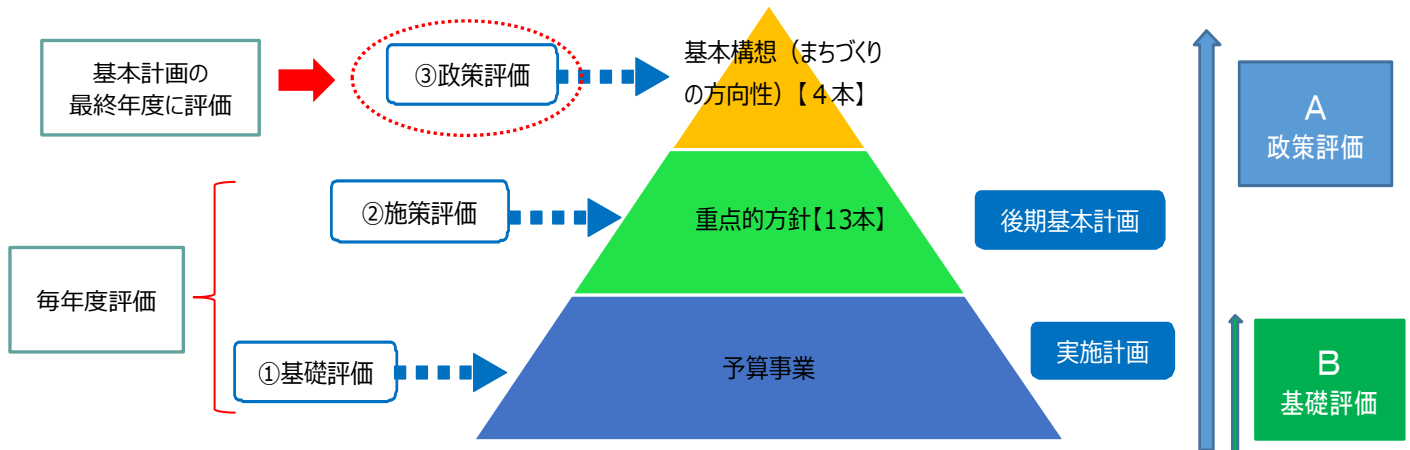


2. 行政システムの概要

第 5 次二宮町総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」により構成され、以下の階層ごとに評価します。

- ・ 政策評価：「基本構想」の「まちづくりの方向性」（4 本）
- ・ 施策評価：「基本計画」の「重点的方針」（13 本）
- ・ 基礎評価：「基本計画」の「分野別方針」に沿って策定された「実施計画事業」を構成する予算事業

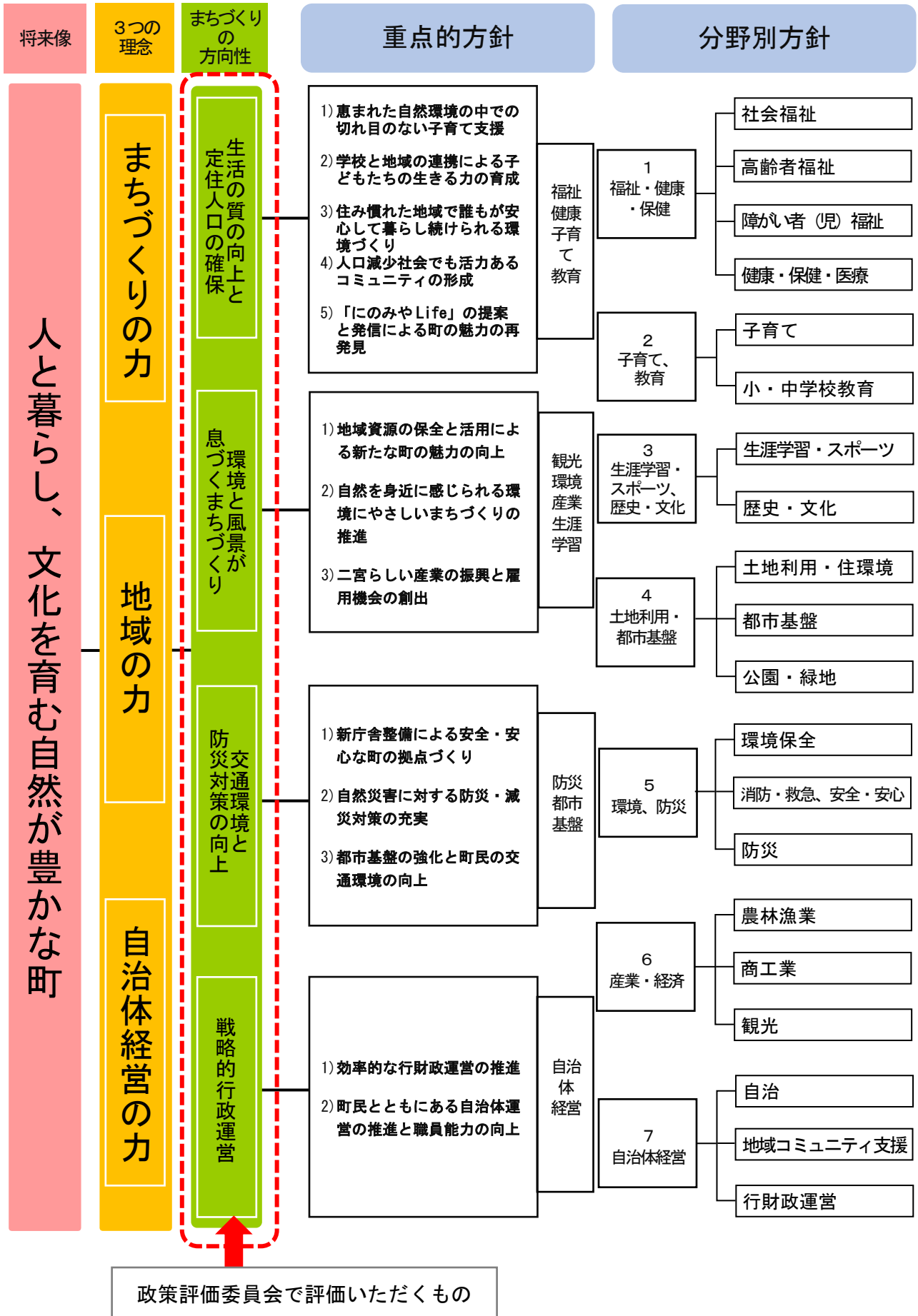
[第 5 次二宮町総合計画の体系と評価の関係]



第5次二宮町総合計画の体系

基本構想

基本計画



予算等事業名	交通計画推進事業			所管課	企画政策課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）
					●
事業対象	町民、事業者	目的	路線バス・コミュニティバス等の再編・見直しや新たな交通手段の検討など、日常生活の移動を確保する。		
事業概要	二宮町の地域公共交通を検討する地域公共交通活性化協議会へ負担金を補助し、交通空白地域の確保改善に取り組む。				

事業予算								
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	0003	地域公共交通推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額		R4決算見込
		直接事業費	148	148		148		148
		人件費	928	149		149		149
		トータルコスト	1,076	297		297		297
		国庫/県支出金	0	0		0		0
		その他	0	0		0		0
R1人件費		正規職員	0.2人		149千円		/	
		再任用職員	0人		0千円			
		会計年度任用職員	0人		0千円			
		その他	0人		0千円			
		合計			149千円			

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画
① コミュニティバスの乗車人員(人/日)	75	80	85	90	100
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域交通の確保	4.24	2.77
2		
3		
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	□	■	□
実効性	□	□	□	■	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 ・乗車人数が増加傾向にある。
 ・コミュニティバスの再編の状況を分析し、効率的な事業展開を目指す必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見	・ 利用促進を図るために、周辺地域へのアプローチ方法を見直す必要がある。		

まちづくりの方向性	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	1-1 恵まれた自然環境の中での切れ目のない子育て支援
概要	<p>町の海や山などの豊かな自然環境を生かし、自然に触れあえる機会や場づくりに取り組み、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境づくりを推進します。</p> <p>また、安心して子育てができる環境を充実させるためには、妊娠から子育ての各段階を切れ目なく支援するだけでなく、福祉や医療の分野が保育や教育などの様々な分野と連携して、障がいのあるなど、支援が必要な子どもに対する継続的な支援を行うとともに、子育てに不安を感じている保護者が気軽に相談できる体制をさらに充実させ、包括的な子育て支援体制の強化を図ります。</p> <p>さらに、身近な地域の中では、子育てに関する相談ができる場や、親同士が気軽に集まれる場の創出を推進するとともに、ファミリー・サポート・センターや一時預かり事業といった支援も併せて子育て環境の充実を図ります。</p>

No.	関連する予算等事業名	トータルコスト（千円）			庁内評価（2次評価）		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
1	子育て世代包括支援事業	1,000	1,000		良好・拡大	良好・拡大	
2	育児発達支援事業	1,000	1,000		良好・維持	良好・維持	
3	子ども・子育て支援給付経費	1,000	1,000		適当・拡大	適当・拡大	
4	百合が丘保育園運営事務経費	1,000	1,000		良好・維持	良好・維持	
5	百合が丘保育園維持管理経費	1,000	1,000		適当・維持	適当・維持	
6	私立幼稚園教育推進事業	1,000	1,000		適当・要改善	適当・要改善	
7	病後児保育事業	1,000	1,000		適当・統廃合	適当・統廃合	
8	小児医療費助成事業	1,000	1,000		不良・要改善	不良・要改善	
9	児童手当支給事業	1,000	1,000		不良・統廃合	不良・統廃合	
10	児童虐待防止対策事業	1,000	1,000		不良・休廃止	不良・休廃止	
11	ひとり親世帯関係経費	1,000	1,000		良好・拡大	良好・拡大	
12	子育てサロン及び一時預かり運営事業	1,000	1,000		良好・維持	良好・維持	
13	子育て支援対策事業	1,000	1,000		適当・拡大	適当・拡大	
14	学童保育所維持管理経費	1,000	1,000		適当・維持	適当・維持	
合計		14,000	14,000	0			

成果（○） 課題等（●）	<ul style="list-style-type: none"> ○大磯町との連携による病後児保育を開始した。 ●増加する保育ニーズへの対応 ●保育士、まかせて会員（ファミサポ）などの人材確保
-----------------	---

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
妥当性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1次評価 「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」

総合評価（評価・理由等）	
B：一定の成果があった	<p>子育て世代包括支援センターや病後児保育など、子育て環境を支援する体制が整えられつつある。安心して子育てができる環境を充実させるためには、多様化し増加するニーズを踏まえつつ、母子保健と発達支援部門などの横断的な連携の強化が必要である。</p>

※ 町の最終方針「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」

町の最終方針（今後の方向性）	
一部改善	<p>各事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。今後、さらに推進するために、子育てサロンや一時預かり事業と連携し、多様化する保育ニーズに対応する受け皿の確保に努めるとともに、各部門との横断的な連携による包括的な受け入れ体制の強化に努め、子どもの健やかな成長を保護者とともに取り組む体制の実現を目指す。</p>

まちづくりの方向性	生活の質の向上と定住人口の確保
背景と現状	<p>「長寿の里」、「子育て・子育ての町」として、子どもから高齢者まで、誰もが、豊かな自然環境と生活環境の中で、健康で安心して暮らすことができ、さらに、住環境、子育て・子育て環境、教育環境を充実することにより、「生活の質」の向上を図ります。</p> <p>そのため、町民の知恵と努力がまちづくりに活かされるとともに、町民同士の協力と支え合いにより、地域コミュニティが息づくまちづくりを進めます。</p> <p>また、「生活の質」を向上させることにより、子育て世代を中心に定住人口の確保に努めます。</p>

※ 評価 「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」
 ※ 方向性 「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」

重点的方針	評価					
	R 1		R 2		R 3	
	評価	方向性	評価	方向性	評価	方向性
1-1 恵まれた自然環境の中での切れ目のない子育て支援	A	継続推進	A	継続推進	A	継続推進
1-2 学校と地域の連携による子どもたちの生きる力の育成	B	継続推進	B	継続推進	B	継続推進
1-3 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられる環境づくり	C	一部改善	B	継続推進	B	継続推進
1-4 人口減少社会でも活力あるコミュニティの形成	D	抜本的見直し	C	一部改善	C	一部改善
1-5 「にのみやLife」の提案と発信による町の魅力の再発見	B	継続推進	B	継続推進	B	継続推進

※ 評価 「順調である」「概ね順調である」「一部順調ではない」「順調ではない」

内部評価（評価・理由等）	
概ね順調である	<ul style="list-style-type: none"> ・政策全体として、各施策ともに一定の成果が得られているため、推進は概ね順調である。 ・1-4の施策において、改善結果が成果に結びついていないことから、取り組み内容が目的に沿ったものになっているか再度検討する必要がある。 ・1-1及び1-2の施策においては、十分な成果が得られているため、持続ある取り組みとなるよう、より一層横断的な連携を強化する。
外部評価（評価・主な意見等）	
概ね順調である	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や町民との連携や情報発信など具体的な取り組みとその成果については評価できる部分がある一方で、対話の促進など一部を改善し、さらに推進する必要がある。 ・この政策は、それぞれの施策が緊密に関係しており、地域や町民、町が密接に連携することが特に求められる分野であるため、次期計画においても連携を継続、発展させていくことが大切である。

※ 町の最終方針 「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」

町の最終方針（今後の方向性）	
継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境の更なる充実を図るために、より一層の横断的な連携により、受入体制体制に必要な整備を行っていく。 ・取り組みを推進するためには、地域や町民との連携が重要であることから、丁寧な情報共有を図り、地域と行政の双方向の視点から推進できる体制づくりを進める。